

「環境モデル都市」について

概要

- 我が国を低炭素社会に転換していくため、温室効果ガスの大幅削減など**高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市**を「環境モデル都市」として選定・支援し、**未来の低炭素都市像を提示**
 ※環境モデル都市選定の視点・基準 ①大幅な削減目標、②先導性・モデル性、③地域に適応、④実現可能性、⑤取組が持続的
- 地域資源を最大限に活用し、**低炭素化と持続的発展を両立する地域モデルの実現**を先導
- 高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市・地域として政府が認定するものであり、政府として国内外に広くPRしていくことで**都市の認知度・イメージアップ**を図る。
- 国は計画に対する毎年のフォローアップ時に、**有識者による専門的知見にもとづいたアドバイス**等の支援を行う。

経緯

- 第169回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説（平成20年1月18日）を受け、平成20年4月11日から5月21日まで募集し、多様な都市・地域から82件（89団体）の応募あり
 ➡ **環境モデル都市として、13都市を選定（総理大臣決裁で選定）**
- | | | | |
|--------|-----------------|--------|---------------------------------------|
| 大都市 | 北九州市、京都市、堺市、横浜市 | 小規模市町村 | 下川町、水俣市、宮古島市、 <small>ゆすはら</small> 橋原町 |
| 地方中心都市 | 飯田市、帯広市、富山市、豊田市 | 東京特別区 | 千代田区 |
- 各環境モデル都市は、目標達成に向けた具体的な行動計画（アクションプラン）公表（平成21年4月）

「環境モデル都市」のイメージ

コンパクトシティ化、交通体系の整備、居住スタイルの変革、再生可能エネルギー普及、森林の保全と活用 など

都市内で統合的に実現

地域において、ライフスタイルやビジネススタイルの転換など **社会変革に向けたうねり**を起し、**地域の活力を創出**

